



← 不調が疑われたときの対応

労働者の心の健康の保持増進の指針

管理監督者

- 自発的な相談に対応
- 相談・受診催促
 - 状況
 - 疲労の蓄積 → 長時間労働
 - 強度の心理的負荷
 - 要個別の配慮
 - 情報提供
 - 相談先
 - 事業場内産業保健スタッフ
 - 事業場外資源
- 役割
 - 一種の交通整理
 - 医療等への橋渡し
 - 解決策選択 → もっとも
 - 安全
 - 効果的
 - 効率的
 - 相談内容 → 正確に把握
 - 問題解決 → 利用できる資源 → 有効活用

相談に乗る上での留意点

- 内容正確に把握
 - 中立性保つ
 - 先入観捨てる
- 相談者に押し付けない → 自分
 - 価値観
 - 人生観
- 共感しすぎない → 事実が見えなくなる

抵抗の理由

- 精神科等への受診催促に罪悪感 → 本人のためと思う
- 他に相談催促に罪悪感
 - 頼りないと思われたくない
 - 相談の目的 → 問題解決
- 相談者が抵抗 → 受診の必要性を裏づけ

メンタルヘルス不調の兆候ある従業員

- 精神科を受診させない
 - 安全配慮義務違反
 - 管理監督者
 - 企業
 - 手当遅れる
 - 苦勞
 - 本人
 - 周囲
 - 自殺の危険性高まる
- 本人望まない → 原則治療につなげる
- 本人の理解なし → 治療うまくいかない